

志田雄一郎

区議会レポート
2023年 冬号#2



編集・発行：立憲民主党・無所属クラブ

住所：新宿区歌舞伎町1-4-1 新宿区役所 5階

電話：03-5273-3555 FAX：03-3209-1077



(しだ・ゆういちろう) 1967 (昭和42) 年新宿区生まれ。現在6期目。
総務区民委員会、文化観光産業特別委員会に所属。

◎AIオンデマンド交通の実証実験

(民間事業者を活用し区民の移動手段のさらなる充実を図る取り組み)

◎予防接種(帯状疱疹)補助事業

～民間事業者を活用したAIオンデマンド交通の実証実験を目指します～

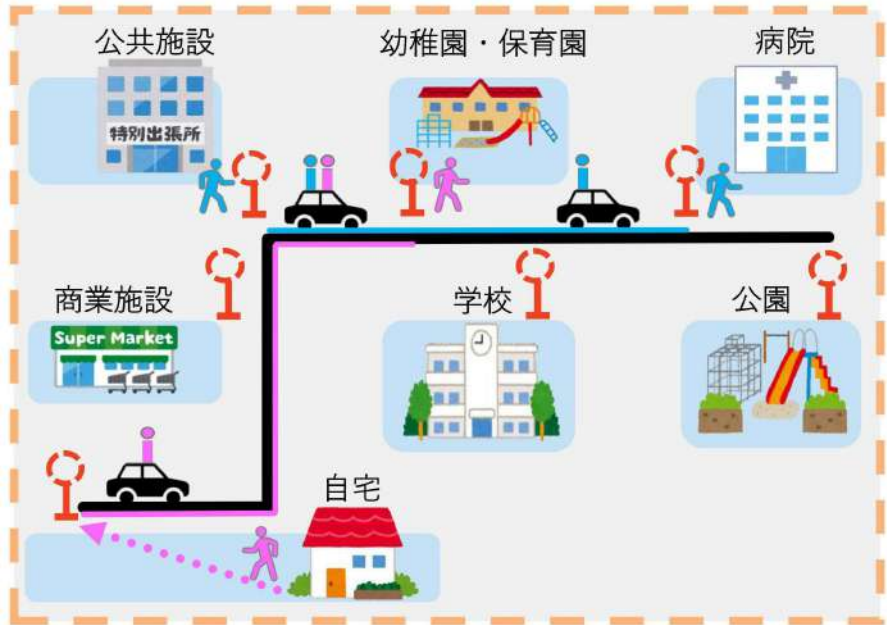
【AIオンデマンド交通とは?】

- ・AIを活用した効率的な運行ルートを選定と利用者のニーズに応じた柔軟な運行
- ・運行エリアを設定
- ・アプリまたは電話による配車予約
- ・同じ方向に向かう利用者を相乗りとすることで低コストを実現
- ・乗降場所として仮想停留所※を設定

※仮想停留所とは、現地に停留所はなく、アプリの地図上に設定されるもので、公共施設、商業施設、病院、保育園、及び学校などの近くに設定します。

【効果】

- ・身近な施設への近距離移動の利便性が向上
- ・高齢者や障害者、子育て世帯等のための新たな移動手段として利用を想定



【運行エリア等について】

- ・運行エリアは約4～9km²の範囲を想定
- ・仮想停留所は、運行エリア内で200～300mに1箇所の間隔で設定

(凡例)

- ・運行エリア
- ・仮想停留所

検討

運行エリア等の検討

地形、既存交通の運行状況、人口分布、施設の配置等を考慮しながら検討します。

調整

既存交通事業者との調整

既存交通事業者とエリア設定等を調整しながら進めていきます。

地域公共交通会議の開催

関係機関等と運行エリア、料金及び仮想停留所等について調整を図ります。

準備

国土交通省へ申請

実証実験開始

区政相談受付中!

TEL・FAX 03-3355-0546

yuichiro.shida@gmail.com

ご意見・ご要望は…

新宿区議会議員

志田雄一郎



～带状疱疹ワクチン予防接種事業の実施について～

令和5年度から带状疱疹ワクチン予防接種の補助事業を開始します。带状疱疹の発症を防ぎ、区民の健康を守る観点から、定期予防接種に位置付けられるまでの間、区のワクチン接種事業と位置づけ、一部公費負担を行います。

【带状疱疹とは？】

水痘・带状疱疹ウイルスの再活性化によって発症します。成人の90%以上がウイルスに既に感染しているため、ほとんどの人が発症のリスクを有しています。加齢は带状疱疹の重要なリスク因子とされ、50歳以上になると発症頻度が高まり、80歳までに3人に1人が経験すると推定されています。

(症状について)

- ・発症すると、体の片側に水疱を伴う紅斑が帯状に広がります。
- ・症状は、痛みを伴うことが多く、3～4週間ほど続きます。

(PHNのリスク)

・皮膚症状が治った後も、長期間に渡り痛みが続く「带状疱疹後神経痛（PHN）」が带状疱疹患者の約2割の方に認められています。

- ・角膜炎等による視力低下や失明、顔面神経麻痺、難聴、めまい等の合併症を発症することがあります。

(その他の合併症)

- ・角膜炎等による視力低下や失明、顔面神経麻痺、難聴、めまい等の合併症を発症することがあります。

【事業概要について】

(ワクチンについて)

- ・带状疱疹を予防するワクチンは、生ワクチンと不活化ワクチンの2種類あります。 ※どちらかを選択

(対象者)

- ・新宿区に住民登録があり、接種日現在、50歳以上の方（約131,000人）

(自己負担金額・接種回数) ※生活保護を受給している世帯等の方は無料

- ・生ワクチン 4,000円/回 接種1回
- ・不活化ワクチン 10,000円/回 接種2回



(事業開始)

- ・令和5年4月1日

(周知方法)

- ・広報新宿、区ホームページ、受託医療機関へ周知の協力依頼



○志田雄一郎 所感

紙面の都合上、今回区から提案された事業で特に重要な二項目を掲載しました。

AIオンデマンド交通の実証実験に関しては、会派としてもこれまでさまざまな場面で区民の移動の確保、充実を図るよう要望してきました。今後の取り組みには非常に関心を持ち期待しているところです。

この事業は「特に高齢者、障害者、子育て中の方々が駅や病院、商店街や保育園等の日々の生活に身近な施設に円滑に移動が可能となるように」との目的で実施されることと思いますので、そういった方々の意見を十分聞く機会を設けるべきだと思います。

带状疱疹ワクチン予防接種については、私の周りの方で以前、带状疱疹に罹り、目の付近に水疱が出来たため、失明の危険もありました。また、長期にわたり痛みが続いたそうです。

現在ではコロナ禍による心身のストレスから免疫力が低下し、带状疱疹を発症する人が増加しているようです。是非進めるべき事業です。